

平成 19 年 9 月 12 日

報道機関 各位

東 北 大 学

**文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラムに採択
—国際高等原子分子材料研究拠点構想—**

国の第 3 期科学技術基本計画、イノベーション創出総合戦略等を受け、平成 19 年度に新たに公募が行われていた「世界トップレベル研究拠点プログラム」について、この度本学が、材料科学・物理・化学・精密機械工学・電子工学情報学の融合領域として提案した、「国際高等原子分子材料研究拠点構想」が採択されましたので、お知らせします。

(世界トップレベル研究拠点プログラム概要)

高いレベルの研究者を中核とした拠点形成を目指す構想に対し集中的な支援を行い、システム改革等の導入を行うことにより、第一線の研究者が世界から集まってくるような、優れた研究環境と極めて高い研究水準を誇る「目に見える拠点」の形成を目指すプログラム。

(国際高等原子分子材料研究拠点構想概要)

世界一線級の国際的融合組織体制の下、次世代をにらみ従来の既成概念を凌駕した斬新な原子分子制御法により、1) 既存の材料を上回る優れた機能を発現する新物質・新材料の創製、2) 新物質と新原理に基づくデバイスの構築、3) 社会還元を軸とする材料システム構築を目指す。

世界トップレベルにある新物質創製、物性・機能計測、構造解析・構造機能予測シミュレーション、プロセス・加工技術、システム構築・評価の研究グループを有機的に連結させることによって、革新的基盤材料を創出し、安全・安心、情報、エネルギー、環境、もの創りなどの広範な分野において、将来の豊かな人類生活の構築に絶大な貢献を果たす。

拠点構想責任者 東北大学大学院理学研究科・教授 山本嘉則

【本件問い合わせ先】

大学院理学研究科 山本嘉則(電話:022(795)6581)

研究協力部研究協力課 村岡利光(電話:022(217)4836)